

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
施策展開番号・名称	3-(5)-ア 研究開発・交流の基盤づくり

## 成果指標

成果指標	目標値(H33年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 自然科学系高等教育機関の研究者数	863人	751人(H23)	862人(H30)	達成見込み
2. 自然科学系高等教育機関の外国人研究者数	311人	110人(H23)	252人(H30)	達成見込み
3. 自然科学系の国際セミナー等開催数	82件	16件(H23)	47件(H30)	進展遅れ

## 政策ツール

### 主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
外国人研究者等の生活環境整備 (H24～R3) (企画部)	県単事業	131百万 (76百万) ※H24～H29	国内外から優れた研究者やその家族の受入れ等を促進するため、住宅等の周辺環境整備を進める。	【平成29年度目標】 大学院大学周辺整備に係る検討委員会の開催 1回	【平成29年度実績】 大学院大学周辺整備に係る検討委員会の開催 1回	達成
沖縄科学技術大学院大学発展促進県民会議 (H24～R3) (企画部)	県単事業	20百万	OISTが主催する小中高生を対象とした科学教室等、人材育成や産業振興につながる取組を支援。	【平成30年度目標】 総会の開催 1回	【平成30年度目標】 総会の開催 1回	達成
沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター機器整備事業(H24～R3) (商工労働部)	県事業 ハード交付金	467百万 (369百万)	最先端の研究機器等の整備を行い、バイオ関連企業等の研究開発及び事業化を支援するとともに、バイオ関連企業の集積を促進する。	最先端機器の導入目標 H26 18機種 H27 13機種	最先端機器の導入実績 H26 18機種 H27 13機種	達成
国際共同研究拠点構築 (H24～R3) (企画部)	県事業 ソフト交付金	1,235百万 (988百万)	本県の研究ポテンシャルや地域特性を活用した国際共同研究に対し支援を行い、国外研究機関との組織間・研究者間のネットワークを構築。	【平成30年度目標】 海外との研究ネットワーク構築に向けた国際共同研究支援 1件	【平成30年度実績】 海外との研究ネットワーク構築に向けた国際共同研究支援 1件	達成
研究交流・情報発信拠点の形成促進 (H28～H30) (企画部)	県事業 県単独	—	県内高等教育機関等から生み出される研究成果を国内外へ発信していくため、セミナーやシンポジウム等を開催。	【H30年度目標】 セミナー、シンポジウム等の開催 20回	【H30年度】 セミナー、シンポジウム等の開催 17回	概ね達成

## 背景・要因の分析

- (1)自然科学系高等教育機関の研究者数  
【達成見込み】  
沖縄科学技術大学院大学において2023年までに計画的に教員数の増加に向けて取組んでいることを主な要因として、自然科学系高等教育機関の研究者数が増加している。琉球大学、沖縄高等専門学校については概ね横ばいで推移している。
- (2)自然科学系高等教育機関の外国人研究者数  
【達成見込み】  
沖縄科学技術大学院大学において2023年までに計画的に教員数の増加に向けて取組んでいることを主な要因として、自然科学系高等教育機関の外国人研究者数が増加している。琉球大学、沖縄高等専門学校については概ね横ばいで推移している。
- (3)自然科学系の国際セミナー等開催数  
【進展遅れ】  
県内高等教育機関の国際的な認知度の向上を図るための取組みとして、国際会議やシンポジウム等を開催し、研究成果の情報発信を行ったが、平成30年度は目標値(62回)を上回ることができなかった。

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
施策展開番号・名称	3-(5)-ア 研究開発・交流の基盤づくり

政策ツール					背景・要因の分析
<b>税制等</b>					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>					
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)			
		・			
		・			
		・			
		・			

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
施策展開番号・名称	3-(5)-イ 知的・産業クラスター形成の推進

成果指標	背景・要因の分析
------	----------

成果指標		目標値(H33年度)	基準値	実績値	達成状況
1.	研究開発型ベンチャー企業数	56社	32社(H23)	61社(H30)	達成
2.	先端医療分野における研究実施件数(累計)	19件	3件(H23)	19件(H30)	達成
3.	県内における共同研究実施件数	265件	87件(H23)	186件(H30)	進展

**(1)研究開発型ベンチャー企業数 達成**  
 県内の研究開発型ベンチャー企業数は、年々増加傾向にあり、平成30年度時点で61社となり、目標値を超えている。これは、インキュベート施設の整備や研究開発費の補助、研究機関との共同研究の支援などの取り組みにより、県内の研究開発基盤が整いつつあることが要因として考えられる。

政策ツール
-------

主な予算事業
--------

事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
沖縄科学技術イノベーションシステム構築事業(H27～R1)(企画部)	県事業 ソフト交付金	800百万円 (640百万円)	大学等の研究シーズと県内外企業のニーズのマッチングを行い、事業化に向けた共同研究等の取組を支援。	【H30年度】 大学と企業が共同した基礎研究の実施 28件 製品化に向けた応用研究の実施 3件	【H30年度実績】 大学と企業が共同した基礎研究の実施 30件 製品化に向けた応用研究の実施 3件	達成
成長分野リーディングプロジェクト創出事業(H29～R3)(企画部)	県事業 ソフト交付金	368百万円 (294百万円)	成長が期待される「健康・医療」「環境・エネルギー」分野において、県内大学等を含む産学共同研究を支援。	【H30年度】 産学協同研究の実施 5件	【H30年度実績】 産学協同研究の実施 5件	達成
先端技術活用によるエネルギー基盤研究事業(H29～R3)(企画部)	県事業 ソフト交付金	340百万円 (272百万円)	供給源の多様化によるエネルギーの安定供給に寄与するため、先端技術を活用したエネルギー分野の共同研究を支援。	【H30年度】 先端技術を活用したエネルギー分野の産学共同研究への支援 4件	【H30年度実績】 先端技術を活用したエネルギー分野の産学共同研究への支援 3件	概ね達成
研究開発補助金や投資ファンドによるハズオン支援(H24～R2)(商工労働部)	県事業 ソフト交付金	1,311百万円 (1,016百万円)	ベンチャー企業等の研究開発費補助とともに研究成果の事業化に向けた専門家によるハズオン支援を実施。	【H30年度】 採択企業による商品化(H26からの累積) 10件	11件	達成
沖縄県医療産業競争力強化事業(H27～R1)(商工労働部)	県事業 ソフト交付金	441百万円 (353百万円)	医薬品・医療機器等の開発における研究開発や、事業化の加速に資する基盤技術開発への支援。	【H30年度】 事業化に向けた基盤構築等への補助 3件	【H30年度実績】 事業化に向けた基盤構築等への補助 3件	達成

**(2)先端医療分野における研究実施件数(累計) 達成**  
 先端医療分野にかかる研究については、再生医療分野等で、大学や企業、民間病院等の関係機関と共同研究が進められており、目標値の19件を達成している。  
 具体的な成果として、早期食道癌の術後患者を対象とした食道再生治療(臨床研究)や、バイオ3Dプリンターの実用化に向けた研究が実施されるなど、研究成果の実用化に向けた取組みが進められている。

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
施策展開番号・名称	3-(5)-イ 知的・産業クラスター形成の推進

政策ツール							背景・要因の分析
<b>主な予算事業</b>							<p><b>(3)県内における共同研究実施件数進展</b></p> <p>研究開発型の企業集積に向けた研究支援施設の機器等の整備や、「健康・医療」、「環境・エネルギー」分野を中心として産学共同研究に対し、企画部から研究費の支援(H24～H30の累計172件)やコーディネータによる企業と大学とのマッチング支援を行った。支援による成果として、大学と企業との共同研究が促進され、研究成果を活用した大学発ベンチャー企業の設立などの取組みに繋がっている。</p>
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
先端医療技術の実用化に向けた研究支援 (H25～R3) (企画部)	県事業 ソフト交付金	661百万円 (529百万円)	再生医療や疾患ゲノム研究等、先端医療等技術・製品の実用化を目指す研究を支援	【平成30年度】 (再生医療)臨床研究の実施 (疾患ゲノム)論文の発表	【平成30年度】 (再生医療)臨床研究の実施 (疾患ゲノム)論文の発表	達成	
先端医療産業開発拠点形成に向けた取組 (H25～R3) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	1,468百万円 (1,174百万円)	再生医療の実現に向けた産業技術開発、及び開発した再生医療関連機器の安全性試験・評価試験の実施。	【H30年度】 先端医療分野における研究実施件数(累計) 14件	【H30年度】 先端医療分野における研究実施件数(累計) 19件	達成	
感染症分野の研究成果の社会実装に向けた研究支援 (H24～R3) (企画部)	県事業 ソフト交付金	1,147百万円 (918百万円)	感染症に関する共同研究、及び研究成果の社会実装に向けた研究開発の支援	【平成30年度】 企業等が行う感染症分野の研究開発に対する補助件数2件	【平成30年度】 企業等が行う感染症分野の研究開発に対する補助件数2件	達成	
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>							
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)					
		.					
		.					
		.					
		.					

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
施策展開番号・名称	3-(5)-ウ 研究開発成果の技術移転による地場産業の高度化

成果指標						背景・要因の分析
成果指標		目標値(H33年度)	基準値	実績値	達成状況	
1.	研究成果の技術移転件数(特許許諾件数)(累計)	20件以上	2社(H23)	16件(H30)	達成見込み	
2.	県内大学等との共同研究に取り組む民間企業数(累計)	600社	54社(H22)	520社(H28)	達成見込み	
3.	県内からの特許等出願件数(累計)	7,476件	651件(H23)	5,384件(H30)	進展	

  

政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
おきなわ型グリーンマテリアル生産技術の開発(H27~H30) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	277百万円 (222百万円)	バイオマス資源から、生分解性プラスチック等の中間原料となる光学活性有機酸を実証生産し、産業利用に向けた共同研究を実施。	【H30年度】 実証生産試験 1件 共同研究件数 5件	【H30年度実績】 実証生産試験 1件 共同研究件数 5件	達成
知的財産活用の総合的支援(H24~R3) (商工労働部)	県事業 県単独	140百万円	業財産権等の保護・活用に関する支援及び特許出願等に対するハンズオン支援を実施。	【H30年度】 特許出願件数等 2件	【H30年度】 特許出願件数等 6件	達成
産業振興重点研究の推進(H24~R3) (企画部)	県事業 県単独	289百万円	県立試験研究機関において、産業界等のニーズを踏まえ研究開発資源を集中的に投入して研究を実施。	【H30年度】 試験研究課題数 5件	【H30年度】 試験研究課題数 7件	達成
企業連携共同研究事業(H24~R3) (商工労働部)	県事業 県単独	15百万円	県内製造業における技術的課題を解決するため、工業技術センターと企業との共同研究を実施。	【H30年度】 企業との共同研究数 5テーマ	【H30年度】 企業との共同研究数 7テーマ	達成
工業技術シーズ活用重点推進事業(H27~R2) (商工労働部)	県事業 県単独	32百万円	生物資源を活用した高付加価値の製品開発を促すため、生物素材の機能性データベースを拡充。	【H30年度】 機能性評価件数 (酸化ストレス予防作用) 100件	【H30年度】 機能性評価件数 (酸化ストレス予防作用) 100件	達成

**(1)研究成果の技術移転件数(特許許諾件数)(累計)**  
**達成見込み**  
 県立試験研究機関における研究成果の権利化に向けた取組みへ支援を実施したところ、特許許諾件数は順調に推移しており、目標値を達成する見込みとなっている。  
 主な成果として、沖縄県が育成者権を有する品種(ちゅら恋紅)を県内菓子メーカーが利用し、無病化苗を生産して、農家に無料配布することで菓子原料の安定確保を実現している。  
 また、サトウキビの害虫に対するフェロモンを活用した交信攪乱剤に関する特許(害虫の繁殖を防ぐ)が、実用化され、サトウキビの生産振興に貢献している。

**(2)県内大学等との共同研究に取り組む民間企業数(累計)**  
**達成見込み**  
 沖縄型イノベーション創出研究会を開催することによりイノベーションの知見を高めるとともに、潜在的なニーズ・シーズの発掘及びマッチングの促進を図った。  
 また、県内中小企業と学術機関等のマッチングによる共同体の研究開発を支援することにより、共同研究に取り組む民間企業数は増加傾向となっている。

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
施策展開番号・名称	3-(5)-ウ 研究開発成果の技術移転による地場産業の高度化

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

**主な予算事業**

事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
先端技術を結集した園芸品目競争力強化事業 (H29～R3) (農林水産部)	県事業 ソフト交付金	1,206百万円 (965百万円)	園芸品目のオリジナル品種の開発、高収益栽培技術の開発、並びに機能性評価及び新しい育種システムの開発等。	【H30年度目標】 技術開発数 2件	【H30年度実績】 技術開発数 2件	達 成
沖縄アゲ豚肉質向上推進事業 (H25～R2) (農林水産部)	県事業 ソフト交付金	230百万円 (184百万円)	DNAチップによるアゲ豚の肉質評価及び優良豚の選抜を行い、遺伝的多様性を維持した改良を実施。	【H30年度目標】 DNAチップによる沖縄アゲ豚の肉質能力評価数 300頭	【H30年度実績】 DNAチップによる沖縄アゲ豚の肉質能力評価数 350頭	達 成

**(3)県内からの特許等出願件数 (累計) 進展**  
 海外進出を目指す県内中小企業の特許権等の外国出願を支援するなど、産業財産権の創造・保護・活用を促進することにより、本県における特許等の出願件数は増加傾向にある。

**努力義務・配慮義務・特例措置**

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)
		・
		・
		・
		・

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
施策展開番号・名称	3-(5)-エ 科学技術を担う人づくり

成果指標						背景・要因の分析																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値(H33年度)</th> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 科学技術にかかる体験型講座開催数(年間)</td> <td>200件以上</td> <td>44社(H23)</td> <td>226件(H30)</td> <td>達成</td> <td rowspan="3"> <p>(1)科学技術にかかる体験型講座開催数(年間) <b>達成</b> 地域や大学・研究機関等と連携し、児童を対象とした体験型の科学教室、中学生及び高校生を対象とした大学教員等による科学教育プログラムを実施したところ、平成30年度の実績は目標値を達成している。 事業の効果を検証するため、県が実施した事業の受講生や保護者にアンケート調査を実施したところ、科学に対する興味や関心の高まりがみられるなどの効果が報告されている。</p> </td> </tr> <tr> <td>2. 理系大学への進学率</td> <td>20.0%以上</td> <td>13.8%(H22)</td> <td>18.5%(H30)</td> <td>達成見込み</td> </tr> <tr> <td>3. 「沖縄科学グランプリ」参加校数</td> <td>25校</td> <td>14校(H23)</td> <td>21校(H30)</td> <td>進展</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	目標値(H33年度)	基準値	実績値	達成状況		1. 科学技術にかかる体験型講座開催数(年間)	200件以上	44社(H23)	226件(H30)	達成	<p>(1)科学技術にかかる体験型講座開催数(年間) <b>達成</b> 地域や大学・研究機関等と連携し、児童を対象とした体験型の科学教室、中学生及び高校生を対象とした大学教員等による科学教育プログラムを実施したところ、平成30年度の実績は目標値を達成している。 事業の効果を検証するため、県が実施した事業の受講生や保護者にアンケート調査を実施したところ、科学に対する興味や関心の高まりがみられるなどの効果が報告されている。</p>	2. 理系大学への進学率	20.0%以上	13.8%(H22)	18.5%(H30)	達成見込み	3. 「沖縄科学グランプリ」参加校数	25校	14校(H23)	21校(H30)	進展
成果指標	目標値(H33年度)	基準値	実績値	達成状況																							
1. 科学技術にかかる体験型講座開催数(年間)	200件以上	44社(H23)	226件(H30)	達成	<p>(1)科学技術にかかる体験型講座開催数(年間) <b>達成</b> 地域や大学・研究機関等と連携し、児童を対象とした体験型の科学教室、中学生及び高校生を対象とした大学教員等による科学教育プログラムを実施したところ、平成30年度の実績は目標値を達成している。 事業の効果を検証するため、県が実施した事業の受講生や保護者にアンケート調査を実施したところ、科学に対する興味や関心の高まりがみられるなどの効果が報告されている。</p>																						
2. 理系大学への進学率	20.0%以上	13.8%(H22)	18.5%(H30)	達成見込み																							
3. 「沖縄科学グランプリ」参加校数	25校	14校(H23)	21校(H30)	進展																							
政策ツール						<p>(2)理系大学への進学率 <b>達成見込み</b></p> <p>・「科学の甲子園全国大会」の県予選大会である「沖縄科学グランプリ」の開催や、つくば先端研究施設研修、科学フォーラムの開催、「スーパーサイエンスハイスクール指定」の取り組み等により理数科目への興味関心が高まり理系大学への進学率は向上している。</p> <p>(3)「沖縄科学グランプリ」参加校数 <b>進展</b></p> <p>・つくば先端研究施設研修、合同宿泊学習会の取組により、本行事への興味関心が高まり、参加チーム数も上限の25チームが参加し、参加校数も増加傾向にある。</p>																					
主な予算事業																											
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況																				
沖縄科学技術向上事業(H24～R3)(教育庁)	県事業 県単独	37百万円	沖縄科学グランプリを開催。競技力向上を図る合同宿泊学習会も開催した。また、選考した生徒を先端研究機関等へ派遣した	【H30年度】 先端研究施設への生徒派遣 30人	【H30年度】 先端研究施設への生徒派遣 48人		達成																				
科学技術への興味関心を高める取組(H24～R3)(企画部)	県事業 ソフト交付金	386百万円 (309百万円)	地域や大学・研究機関等との連携により、児童を対象とした科学教室の自主開催支援や、中高生を対象とした科学教育プログラムを実施。	【平成30年度目標】 出前講座等開催数10回	【平成30年度実績】 出前講座等開催数70回	達成																					
スーパーサイエンスハイスクール指定に向けた取組(H24～R3)(教育庁)	—	—	スーパーサイエンスハイスクールとして指定を受けている県立球陽高校において、「理科課題研究」や学校設定科目「SSH探究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を実施し、科学技術系人材を育成	【H30年度】 ・指定校における研究課題・教育課程開発の実施 ・指定校応募に向けた調整及び応募	【H30年度】 ・指定校における研究課題・教育課程開発の実施 ・指定校応募に向けた調整及び応募	達成																					

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
施策展開番号・名称	3-(5)-エ 科学技術を担う人づくり

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

### 主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種類別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況

### 努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)
		・
		・
		・
		・



# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進

成果指標	背景・要因の分析
------	----------

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 理系大学への進学率	20.0%以上	13.8%(23年3月卒)	18.5%(30年3月卒)	達成見込
2. 科学技術にかかる体験型講座開催数(年間)	200件以上	44件(23年度)	239件	達成
3. 県出身日本代表スポーツ選手数(全ての国際大会)	33名/年	23名/年(24年度)	26名/年	進展遅れ
4-1. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(団体)	6団体	団体:6団体(20年度)	団体:4団体	進展遅れ
4-2. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(個人)	24人以上	個人:23人(20年度)	個人:18人	進展遅れ
5-1. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(中)	13部門/58件	12部門/53件(23年度)	12部門/72件	進展
5-2. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(高)	17部門/57件	16部門/52件(23年度)	18部門/41件	進展遅れ

**(1)理系大学への進学率**  
**【達成見込】**  
 「科学の甲子園全国大会」の県予選大会である「沖縄科学グランプリ」の開催や、つくば先端研究施設研修、科学フォーラムの開催、「スーパーサイエンスハイスクール指定」の取り組み等により理数科目への興味関心が高まり、理系大学への進学率は向上している。

政策ツール
-------

主な予算事業						
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
沖縄科学技術向上事業(H24~R3)(教育庁)	県単事業	37百万円	科学に対する興味や関心を高めるため、高校生を対象に先端研究機関等へ派遣	【平成30年度目標】 先端研究施設への生徒派遣人数:30人	【平成30年度実績】 先端研究施設への生徒派遣人数:48人	達成
科学技術への興味関心を高める取組(H24~R3)(企画部)	県事業 ソフト交付金	386百万円 (309百万円)	児童を対象とした科学教室の自主開催支援や中学生及び高校生を対象とした科学教育プログラムを実施	【平成30年度目標】 出前講座等開催数10回	【平成30年度実績】 出前講座等開催数70回	達成
海外サイエンス体験短期研修(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	86百万円 (69百万円)	カナダ・ブリティッシュコロンビア州へ、高校生を派遣し研究機関等の訪問、現地高校大学等授業参加などを実施	【平成30年度目標】 派遣数:25人	【平成30年度実績】 派遣数:20人	概ね達成
国民体育大会等派遣事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県単事業	百万円 (百万円)	都道府県対抗で実施する国民体育大会の本大会、冬季大会に選手・監督を派遣する。また、国民体育大会の予選大会である九州ブロック大会に選手を派遣	【平成30年度目標】 国民体育大会選手派遣人数:300人	【平成30年度実績】 国民体育大会選手派遣人数:302人	達成

**(2)科学技術にかかる体験型講座開催数(年間)**  
**【達成】**  
 県、沖縄科学技術大学院大学、琉球大学、沖縄高専において、体験型の科学教室、中学生及び高校生を対象とした大学教員等による科学教育プログラムを実施したところ、講座開催数は順調に推移し、目標値を達成している。  
 事業の効果を検証するため、県実施事業の受講生や保護者にアンケート調査を実施したところ、科学に対する興味や関心の高まりがみられるなどの効果が報告されている。

**(3)県出身日本代表スポーツ選手数(全ての国際大会)**  
**【進展遅れ】**  
 各競技において、優れた素質を有するジュニアアスリートが一貫した指導理念に基づき、トップアスリートへと育成されるシステムがまだ確立されていないことなどから、進展遅れが見られる。

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進

政策ツール							背景・要因の分析
<b>主な予算事業</b>							<p>(4-1)全国高等学校体育大会入賞者及び入賞件数(団体) 【進展遅れ】 平成22年度沖縄美ら島総体以降の優秀な指導者の異動や退職等もあり、全国高等学校体育大会入賞団体は基準年から団体で2減、入賞者数も5人減少し、進展遅れとなっている。</p> <p>(4-2)全国高等学校体育大会入賞者及び入賞件数(個人) 【進展遅れ】 平成22年度沖縄美ら島総体以降の優秀な指導者の異動や退職等もあり、全国高等学校体育大会入賞団体は基準年から団体で2減、入賞者数も5人減少し、進展遅れとなっている。</p> <p>(5-1)高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(中)</p> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; text-align: center; padding: 10px; font-size: 24px;">調整中</div> <p>(5-2)高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(高)</p> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; text-align: center; padding: 10px; font-size: 24px;">調整中</div>
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
沖縄県体育協会活動費補助(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	百万円 (百万円)	県内競技団体を統轄する公益財団法人沖縄県体育協会が競技力向上対策、スポーツ少年団育成、県民体育大会の開催等を円滑におこなえるよう、協会に対して運営支援する	【平成30年度目標】 県民体育大会参加人数:9,600人 スポーツ少年団の育成:—	【平成30年度実績】 県民体育大会参加人数:9,675人 スポーツ少年団の育成:12,693人	達成	
南部九州全国高等学校総合体育大会開催推進事業(H27～R1) (教育庁)	県単事業	292百万円	令和元年度全国高等学校総合体育大会(南部九州ブロック)本県開催に向けた準備業務を実施	【平成30年度目標】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進:—	【平成30年度実績】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進:48回	達成	
青少年文化活動事業費(H24～R3) (教育庁)	県単事業	74百万円	県高等学校文化連盟等が行う全国高総文祭等への派遣費助成に対する補助等を実施	【平成30年度目標】 県外派遣数(県高文連による大会派遣):700人	【平成30年度実績】 県外派遣数(県高文連による大会派遣):1078人	達成	
こども科学力育成事業(H24～R3) (沖縄市)	市町村事業 ソフト交付金	173百万円 (122百万円)	こども達が科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学企画展、体験イベント、ワークショップ、出前講座を実施する	【H29年度目標】 ・科学力育成事業参加者数:16,200人 ・出前科学教室参加者数:4,000人	【H29年度実績】 ・科学力育成事業参加者数:21,578人 ・出前科学教室参加者数:5,254人	達成	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進

政策ツール	背景・要因の分析

## 努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)